

プレゼント

アンケートにご協力ください(応募締切:3月21日必着)

「きずな・KOBÉ」第12号はいかがでしたか?

ご覧になった感想をお寄せください。お寄せいただいた方のなかから抽選で、下記のプレゼントをお贈りいたします。

A 「いかり共同作業所」より「Nigao」シリーズペアセット

作業所の仲間たちが描いた顔パーツを、福笑いのように貼り付けてつくられる表情は世界でひとつだけ!どんな表情なのかは届いてからの楽しみです♪



5組10名様

B 「株式会社フェリシモ」より きらめく粒の手づくりガラス自然をかたどった大人のイヤカフセット(葉 leaf)

「チャレンジド・クリエイティブ・プロジェクト」で製作されたイヤカフとイヤリングのセット。

鮮やかに彩られたガラス粒は、垂水区にあるゆとり作業所のチャレンジドたちが、「ヒュージング」と呼ばれる特殊な技法で焼き上げました。



3名様



● 高齢の母と私が残った我が家は「特集 認知症と付き合う」を読み、これからこうきたい!という希望を強くもちました。多くの人達の支えに心から感謝です。
ところでラジオの三上さんの番組はす〜と聞いているリスナーです。三上さんありがとう。
(N.Yさん 51歳/女性)

● 初めて読みました。福祉に携わる仕事をしていなくても世の中の流れを考えるうえで読みごたえのある誌面ですね。
(M.Rさん 39歳/女性)

● 初めてきずな・KOBÉを読みました。私にも87才になる一人ぐらしの母親がいます。毎日、仕事終りに電話して一日の出来事を話しています。母親にとってはその会話がすごく楽しみにしているようですので、これからも続けていきます。
(H.Tさん 56歳/男性)

【応募方法】ハガキまたはEメールで

お名前、ご住所(〒)、電話番号、年齢、性別と希望のプレゼント名、本誌へのご感想を明記して、下記までご応募ください。当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。

ハガキ 〒651-0086
神戸市中央区磯上通3-1-32
神戸市社会福祉協議会
「きずな・KOBÉ」プレゼント係へ

Eメール kouhou@with-kobe.or.jp

※次号は2016年7月発行予定です。

神戸市社会福祉協議会 福祉の情報誌

きずな・KOBÉ

第12号
TAKE FREE
March 2016



この広報誌は赤い羽根共同募金配分金を受けて発行しています。

特集1 ワイワイガヤガヤ
さあ、みんなで”手話べ”ろう!

特集2 障がいとともにある暮らし



表紙写真:「手話BAR」での歓談の様子

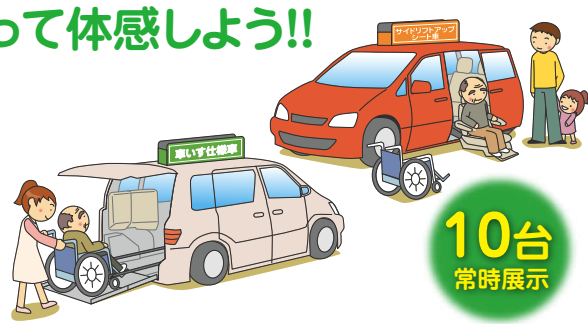
トヨタハートフルプラザは、トヨタの福祉車両「ウェルキャブシリーズ」の総合展示場です。

来て、見て、さわって体感しよう!!

ウェルキャブを常時10台取り揃え、カタログだけではわからない実車の使い勝手や機能・操作の確認をしていただけます。

専任のスタッフがお客様一人ひとりのご要望にあったクルマ選びのお手伝いをいたします。

カスタマイズの相談も承ります。お気軽にご来場ください。



10台
常時展示



〒650-0023
兵庫県神戸市中央区栄町通7-1-3-2F
神戸中央郵便局西向い

トヨタウェルキャブ 総合展示場 トヨタハートフルプラザ神戸 TEL.078-366-1616 FAX.078-360-0399

営業時間 / 午前10:00～午後6:00
定休日 / 毎週月曜日および第2週火曜日(祝日の場合は翌日)

ハートフルプラザ神戸

検索

<http://toyota.jp/heartful/>

きずな・KOBÉ 第12号 (2016年3月発行)

発行 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
〒651-0086 神戸市中央区磯上通 3-1-32 こうべ市民福祉交流センター
<http://www.with-kobe.or.jp/> TEL 078-271-5306 FAX 078-271-5365
製作 株式会社プランニングオフィス・トライ

「きずな・KOBÉ」では、企業等の広告を募集しています。広告掲載のお問い合わせは、078-271-5306 神戸市社会福祉協議会 広報交流部へ。

神戸市社協広報印刷物登録
平成27年度第3-3号 広報印刷物規格A-3類



この広報誌は、ふれあいのまちKOBÉ愛の輪運動の補助を受けて発行しています。

美味しい!
かわいい!福祉のお店

社会福祉法人 いかり いかり共同作業所

会いたかった
Yes! この人

株式会社 フェリシモ C.C.P関係者のみなさん

季節の人気メニュー
和風カレー

催し・イベント情報ほか
読者アンケート&プレゼント

ワイワイ ガヤガヤ しゃ ”手話べ”ろう!

手話カフェ

灘区水道筋商店街の一角に、月に一度、手話カフェに変身するカフェがあります。ここには食事やお手話べりを楽しまれる方、お茶を飲みながら手話の勉強をする方など様々な人が立ち寄り、思い思いの時間を過ごされています。



定番のカレーのほか、季節によっておでんやピザトーストが食べられます。調理スタッフには、聴覚障がい者もおられ、すべて心を込めて手づくりで調理しています。



ここには様々な方とのふれあいがあり、お客様との出会いや会話を楽しみながらお手伝いをしています。健聴の方も気軽に立ち寄りください!



ケーキはどれも荒木さんの特製。写真のシフォンケーキのほか、旬の果物を使ったロールケーキもありますよ。



聴覚障がい者の仲井さん。ひょうご聴障ネットの代表委員を務めながら、手話カフェのスタッフとしても活躍中! ここは聴覚障がい者の活躍の場でもあるんですね。

手話カフェ

開催日: 毎月第3 水曜日 11:30~20:00

場 所: 神戸市灘区篠原南町6丁目2-2「Cafe P/S」内

問合せ: ひょうご聴障ネット ※店舗へのお問合せはご遠慮ください

TEL/FAX: 078-362-5250 / 078-362-5270

Mail: hyogo.6319_deaf_net@y4.dion.ne.jp



ひょうご聴障ネット事務局
店長 荒木 令子さん

このカフェは、ひょうご聴障ネットが立ち上げ、当初から「出会い」をテーマに運営してきました。

聴覚障害者情報センターなどには聴覚障がい者の交流の場がありますが、健聴の方にはハードルが高く感じられて当事者だけの集まりになってしまいがちです。聴覚障がい者も健聴者も気軽に立ち寄ることができ、互いに出会いのきっかけとなる場所がまちにほしい...そうしたわたしたちの想いが実ったかたちが、このカフェです。

長く続けていると、お客様から「ここに来るうちにだんだんと自信がついてきて、手話のできる人がいない時にも店に通いだし」なんて話を聞かせてもらえることがあります。その人にとって、ここがまた新しい出会いのきっかけとなれたようで嬉しくなりますね。

店舗オーナーのご好意もあり、今年で10年目を迎える手話カフェですが、これまでも、そしてこれからも聴覚障がい者がいろんな人と出会える場であり続けたいと思います。



カフェを運営するひょうご聴障ネットのみなさん。当事者も含むスタッフ一同でおもてなしします!

「神戸市みんなの手話言語条例」が施行されてまもなく一年。神戸のまちは、手話を必要とする人が十分にコミュニケーションのとれる社会に向けてどのように変われたでしょうか。今号では、聴覚障がい者と健聴者が手話を介して交流を育むスポットを特集します。手話ができなくても大丈夫。店員さんやそこに居合わせた親切な方がコミュニケーションの橋渡しをしてくれますよ。



代表 白石 昇さん

手話をはじめたきっかけは、10年前に経営していたBARに聴覚障がいのお客様が来店された際、通訳してもらわないと満足な会話ができず申し訳なさを感じたことでした。

その頃に仲間内で始まった手話BARですが、口コミやSNSにより参加が増えるにしたがって少しずつ形を変えていき、昨年に現在のお店でのリニューアルオープンとなりました。

今では市内はもちろん県外から来られるリピーターも増え、多い日では60名以上が来店されます。海外からの旅行者がSNSでうわさを聞きつけて立ち寄られたこともあるんですよ。

現在は手話をできることがひと目でわかるバッジの普及にも努めていて、これまで4,000個を販売しました。手話を必要とする方は健聴の方と比べてコミュニケーションの機会や身のまわりの情報を得にくいため、このバッジの広がりによってそうした難しさを乗り越える力になれるよう、これからも頑張ります!



今ではかなり手話が上達した白石さん。手話でのオーダーはもちろん、手話がわからない方への通訳もできます。

Acqua Club & Sports & Entertainment

北野坂にある「象ビル」のスポーツBARで開かれる手話BAR。

ここは老若男女、聴覚障がい者も健聴者も宵のひとときを過ごせる秘密基地。酒に酔いしれながら、大人の空間でお手話べりを楽しもう!



酔いが回りはじめると、次第にテーブルは手話で賑やかに。話題が盛り上がるほど忙しく、休む間もなく手が踊り続けます。



店内ではダーツによるコミュニケーションを楽しむこともできます。



手話できますバッジ

ピンクは手話ができること、緑は手話勉強中を意味し、手の色で障がいの有無を表します。バッジを着用している方は会費が割引に!

不定期で手話ソングライブなどのイベントも開催。気になる方はAcquaのwebサイトをチェック!



Acqua Club & Sports & Entertainment

開催日: 不定期(月1~2回程度) 17:00~

詳細はwebサイト(<http://acqua-kobe.net/>)にて

場 所: 神戸市中央区中山手通1丁目22-10 象ビルディングB1

会 費: 1,000円(ワンドリンク、おつまみ付) ※食事でもできます

TEL/FAX: 078-230-7388 Mail: shiraishi@acqua-kobe.net

障がいとともにある暮らし

「障がいのある人は、地域でどのような暮らしをおくっているんだろう?」。そうした疑問を胸に、今回は市内で暮らすAさんの暮らしぶりに密着しました。そうして見えてきたのは、支援を必要としながらも持てる力を活かして働き、学び、そして恋をする…毎日を精一杯に楽しむ姿でした。

プロフィール

中度の知的障がいと精神障がいを抱えるAさん。日中は作業所で働きながら、社会で暮らす力を身につけるための訓練や看護師の訪問、ホームヘルパーによる家事支援など、様々な場面でサポートを受けながら地域で暮らしています。

以前は母と兄との3人で暮らしていましたが、現在は親元を離れ、ひとり暮らしを始めて6年目となりました。

いつも笑顔を絶やさない、周囲を明るくほんわかとさせてくれる女性です。

家事はヘルパーさんがお手伝いしてくれます。今は苦手な料理も、少しずつ自分で行えるようになるため練習は欠かせません。
「へえ〜。シチューってこうやってつくるんやね」

働いたお金で
大好きなぬいぐるみを買ってます。
ヘルパーさんには物増やしすぎ
やって叱られますけど…(笑)

恋する気持ちに障がいの
有無は関係ありません。
彼氏さんとの公園デートにお
邪魔させていただきました。

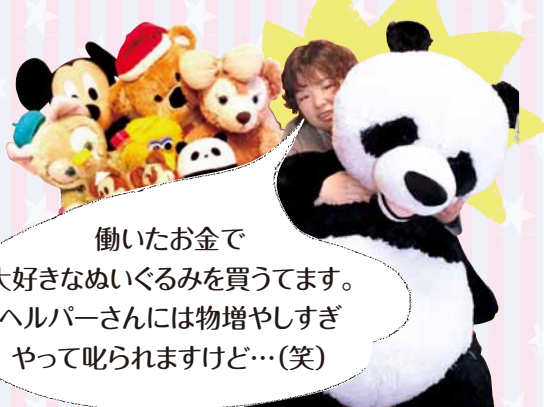
「ふたりで出かけているうちに電車の乗り方も覚えまして」
「あったかくなったら京都に桜見に行くもええなあ」

「一番大きな目標は就職することです。そのための一歩として2月から県の訓練で介護の基礎を学び始めました。不安もありますが、持ち前の笑顔と愛嬌を忘れず頑張ります! ただ、その前に身のまわりのことをもう少ししっかりせんと
なあと考えてます。まずは早起きからかなあ…笑
プライベートは、彼氏さんと今の良い関係が続けばそれで十分幸せです
いつかお金をためて、北海道に行きたいな!」

Q. 今後の
目標は?



作業所で箱づくりの仕事中。このときはいつもの笑顔を消して、その表情は真剣そのもの。



『ともにしあわせになるしあわせ』
障がい者の魅力が光り、
より活躍できる社会をめざして



左から
CFV事業本部 部長代理 能勢加奈子さん
現在は直接的にC.C.P.に携わることはないものの、フェアトレードやエコなどソーシャル事業のリーダーをつとめる。
CFV事業本部 課長代理 永富 恭子さん
C.C.P.には立上げ当初から携わり、商品企画を担当。現在14年目。
CFV事業本部 馬場 怜衣さん
C.C.P.担当2年目。新進気鋭のニューフェイス。
C.C.P.ホームページ <http://feli.jp/ccp/>

同社の「チャレンジド・クリエイティブ・プロジェクト」(以下C.C.P.)は、障がい者の手仕事を付加価値として取り入れた高い感性の商品を生み出し、その素晴らしさを発信する取り組みです。その始まりは2003年にまでさかのぼります。

「後に共同設立者となる社会福祉法人プロップ・ステーション代表の竹中ナミさんが、社内講演会でお話をされた。障がい者も納税し、一緒に活躍できる社会を」という言葉がプロジェクト立上げのきっかけでした。私たちのマーケティングノウハウを活かし、付加価値を高めて生活者の方々に手に取っていただけるものをつくるというコンセプトは14年目を迎える今も変わりません。」

兵庫県下の呼びかけに応募された福祉作業所の手づくり製品を手にし、その仕事ぶりを目の当たりにするたび驚きを感じたという永富さん。
「チャレンジドが作った商品は、量産品にはない、丁寧でできまじめなつくりで、器用ではないけれど、まっすぐに心にひびく手づく

りの味わいがありました。この魅力を、お客様に伝えたいと思っています。」

しかし、作業所の手づくり製品そのものをカタログで販売するにはデザインやアイテーム力、また量産性や安定した品質水準の確保などの課題がありました。

「そこで、チャレンジドの手がけた素材を部分的に取り入れました。弊社の商品開発力とメーカーの信頼性の高い品質生産力に、作業所の丁寧な手仕事が付加価値として加わる手法は、C.C.P.における商品づくりの基盤となりました。」

こうして動き出したプロジェクトには、新商品の開発だけにとどまらないさらなる目的が。

「C.C.P.は付加価値の高い商品を生み出すだけでなく、その経験をもとにチャレンジドのスキルアップや作業所の販売力向上となることも視野に入れています。そうすることで、社会で働き、活躍できる機会がさらに広がっていくと考えているからです。仕事をともにした人たちの変化を感じられることは、私たちの喜びでもあります。」

そのねらいの裏には、同社の掲げる理念の存在がありました。



「こうしたねらいの背景には、弊社のコア・バリューである、ともにしあわせになるしあわせ」という考えがあります。この理念を念頭に、私たちは多くの人々が関わることで生まれる新しい価値を一緒に模索するというプロセスを大切に、パートナーとは常に対等な関係であることを心がけています。」

こうして、これまで230種以上の商品を、全国の累計110以上の作業所と生み出してきた同プロジェクト。その今後の展望について伺いました。

「近年、アートの分野におけるチャレンジドの活躍が注目をされています。その独創的な発想には大いに可能性を感じており、チャレンジドだからこそその付加価値を見出したいと考えています。」

「また、C.C.P.では、つながりがなにより大切です。今後はより発信に力を入れ、作業所と企業、そして消費者をつなぐ中間支援の立場で、新たな価値を生み出し

ていきたいと思います。」
最後に、未来のパートナーへのメッセージをいただきました。



「私たちは、みなさんが今できることから、これまでにない可能性を見つける力になりま



さをりポーチ

株式会社 フェリシモ
1965年設立以来、顧客との直接的なつながりを築く「ダイレクトマーケティング事業」に携わる。そのビジョンの根底にある「ともにしあわせになるしあわせ」を実現するための「要素」としてさまざまな「社会文化活動」に取り組んでいる。

障がい者向け多機能型福祉賃貸マンション
日本初の終身型介護付き

今日からは自分で!
あんしん新生活

リビングフロア(2~4階)に身体に障がいを持つ方が暮らしやすいように設計されたワンルーム居室とショートステイがあり、1階のコミュニティフロアには、訪問介護ステーション、就労支援、児童のための通所施設を併設した日本で初めての多機能型福祉マンションです。

詳細はホームページをご覧ください <http://www.qol-c.co.jp>
お問い合わせ 神戸市垂水区下畑町498番53 TEL 078-755-5906
受付時間 10:00~17:00 (年中無休)

住む 自由な暮らし
通う 通所・就労事業
働く 就労による経済的自立
安心 医療・介護サポート

Quality Life 事業案内

- 障がい者居宅介護事業
- 障がい者就労支援事業
- 障がい者通所支援事業
- 賃貸住宅整備事業

美味しい！かわいい！福祉のお店



どこか似ている、個性あふれるマグカップ。「Nigao」を手にとると、思わず笑顔に！社会福祉法人 いかり いかり共同作業所

兵庫区西出町にあるいかり共同作業所は、1980年の開設以来、現在は10代から60代までの幅広い年齢層の利用者が36名在籍し、生活の場として利用しています。手づくり弁当の配達や地域の資源回収、紙パックを原料にした手すき和紙など手がける仕事は幅広く、特にお弁当は市内各所から注文が寄せられる人気ぶり。4年前には施設を開放して「いかり食堂」をオープン。月に二度、地域住民を招いて作業所自慢の昼食やおしゃべりを楽しんでもらいます。

こうした様々なことに取組む共同作業所ですが、「仲間たちと一緒に仕事ができ、より売れる商品を作りたい」という想いから、昨年、世界にひとつだけのマグカップ「Nigao」を新たに開発しました。

新製品の開発には市の支援制度を活用。以前から行っていた「ポーセラーツ」と呼ばれる白磁器への装飾技術を活かしつつ、協力デザイナーの竹田氏が手がける「ベジつら」から着想を得ました。

利用者が描いた似顔絵を目、鼻、口などのパーツに分割し、利用者独自のセンスで福笑いのようにカップへ貼り付けた表情は、ふたつとないオンラインワン。開発中、大学生と行った意見交換からは、鼻パーツを目として使うというアイデアも生まれ、その表現は無限の可能性を秘めています。

お土産としても注目を集める「Nigao」は、同作業所のほか神戸市役所2号館にある神戸ふれあい工房などで販売中。数ある中からお気に入りの顔を選ぶのは、ぜひ、お越しください。

住 所 神戸市兵庫区西出町1丁目2-13
TEL.&FAX TEL.078-651-1902 FAX.078-651-7802
営業時間 9:00～16:00 土曜9:00～15:00
日曜はその都度決定
定休日 不定休
ホームページ <http://www.h4.dion.jp/~ikari-k>

※株式会社日本ヴォークによるポーセリンアーツの略称

講座 市立点字図書館 点訳ボランティア養成講座

5月19日(木)～平成30年3月22日(木) 13:00～15:00
※毎週木曜日、計85回開催予定。夏期・冬季に休講日あり。
【場所】市立心身障害福祉センター5階 点字図書館
【参加費】受講料無料(ただし、テキスト代ほか実費)
【定員】20名/選考試験、面接あり
【申込期間】平成28年4月1日(金)～8日(金)
はがきかFAX(はがきの場合は、8日消印有効)

催し 市立点字図書館 第7回 視覚障害者用福祉機器展 ～エンジョイ! 便利グッズ展～

3月11日(金) 10:30～15:30 ※申込不要・入場無料・販売なし
●開催趣旨・・・視覚障害者への福祉機器情報の提供(約20団体の出展)
【場所】市立心身障害福祉センター6階 体育室
「点訳ボランティア養成講座」「視覚障害者用福祉機器展」ともに
(申) (問) 市立点字図書館
〒652-0802 神戸市兵庫区水木通2丁目1-10
市立心身障害福祉センター5階
TEL. (078)511-7090 FAX(078)511-7066

募集 神戸市総合児童センター(こべっこランド)

●スマイルサポーター(社会人ボランティア)募集
こべっこランドで子どもたちと一緒に遊びながら、健やかな成長をサポートするボランティアです。
【申込期間】平成28年3月12日(土)～6月10日(金)
(申) (問) 神戸市総合児童センター(こべっこランド) TEL. (078)-382-1300 HP:<http://www.kobekko.or.jp/>

ご寄付をありがとうございます。

神戸市内の福祉活動に役立てています。 (敬称略。ご承諾をいただいた方のみ掲載しています)
(*寄付をしていただいた個人・法人は、所得税・法人税あるいは神戸市の個人市民税の優遇措置が受けられます)

【善意銀行】平成27年10月～平成28年1月末
善意銀行では、金銭・物品のご寄付を「金銭口座」と「物品口座」にお預かりしています。

金銭口座 瑞乃会、岡本 尚彦、あおぞら陶芸ボランティア連合会 匿名6件
物品口座 日立物流「まごころ基金」・日立物流コラボネクス株式会社 岡本株式会社

金銭口座 公益財団法人 日本対がん協会、特定非営利活動法人 ひょうごセルフヘルプ支援センター 神戸市乳児院連盟、全国パーキンソン病友の会 兵庫県支部

【社会福祉推進基金】
寄付者: 府国生第534号 内閣府NPO法人 暮らしの寺小屋ライフサイエンス 中村淳子 二期会

一般社団法人 生命保険協会兵庫県協会様より福祉車両をご寄贈いただきました。



生命保険協会兵庫県協会は、社会貢献活動の一環として、同協会加盟の23社の従業員から集めた募金で軽乗用車と車椅子を購入され、兵庫県下社協に毎年寄贈されています。本会も毎年福祉車両をいただき、今年度は須磨区社会福祉協議会に配分させていただきました。地域の皆さまと共に福祉の向上を図るため、今日も社協職員がいただいた福祉車両を活用しています。

みんな大好き 季節の人気メニュー 和風カレー

なじみのある和風だしベースで作るカレーなので、親しみやすい味で利用者の皆さんに人気があります。

冬は鍋の具材で、お馴染みの長ねぎやきのこを使っても味になじんで美味しです。よ、季節にあわせて使う野菜を工夫すると、一年中楽しめるカレーです。

材料(1人分)
・十五穀ご飯 1人前・豚肉 50g・料理酒 小さじ 2/3
玉葱 100g・じゃが芋 60g・にんじん 20g・舞茸 20g
・白葱 20g・サラダ油 小さじ 3/4・カレー粉 小さじ 3/4
・カレールー適量・濃口醤油 大さじ1・上白糖 小さじ2
・みりん 小さじ1・だし汁 180cc・片栗粉 小さじ1
・グリーンピース 5g

作り方
① 野菜を適当にカットする
② じゃがいもは茹でておく
③ 豚肉、玉葱、にんじんを炒めて、カレー粉を加え、だし汁を入れて煮込み、砂糖、醤油、みりんを加えて味見し、最後にカレールーで好みの味に調える
④ 片栗粉でとろみをつけ、②とグリーンピースを加える
⑤ 十五穀ご飯を皿に盛って④をかけて出来上がり



介護が必要な方でも安心してご入居出来ます！

介護付有料老人ホーム パーマリィ・イン 見学会随時開催中

パーマリィ・イン-新神戸-
0120-861-872
神戸市中央区加納町2-13-7

パーマリィ・イン-須磨-
0120-587-788
神戸市須磨区千守町1-5

<http://palmaryinn.com/>

しあわせの村ボランティア募集

楽しいイベントと一緒に企画・運営しませんか！

キャンプ・探検ツアー・おばけやしき・おはなし・昔あそび ほか、イベントがいっぱい！




●申込方法：電話・FAX・はがきに①名前②住所③電話番号④コースか社会人かを記入し、下記に送付またはWEB(www.shiawasenomura.org)にて
●申込先：〒651-1102 神戸市北区しあわせの村内 (公財) 神戸市民福祉振興協会 事業推進課
TEL: 078-743-8092 FAX: 078-743-8180

①ユースボランティア 要申込 ②社会人ボランティア 要申込
(大学・短大・専門学校生のみ) (18歳以上)
①②の説明会: 4月17日(日)10:00～ 場所: しあわせの村 たんぼの家1階

締切 4月15日(金)

【お問合せ】しあわせの村 (公財) 神戸市民福祉振興協会 TEL: 078-743-8092 しあわせの村 検索